

石油天然ガス田の探鉱・資産買収等事業に対する出資金

資源エネルギー庁資源・燃料部
石油・天然ガス課

令和5年度予算額

479 億円 (388 億円)

事業の内容

事業目的

石油・天然ガスの安定的かつ低廉な供給の確保とカーボンニュートラルへの円滑な移行を同時に実現するため、リスクマネー供給により、我が国企業による石油・天然ガスの権益獲得、水素・アンモニア等の脱炭素燃料のバリューチェーン構築、CCS（二酸化炭素回収・貯留）の事業化を促進します。

事業概要

石油・天然ガスの探鉱・開発・資産買収、水素・アンモニアの製造・貯蔵、CCS等を行う民間企業に対して、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）が、リスクマネー供給による支援を実施するために必要な出資を行います。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

我が国の石油・天然ガスの自主開発比率を引き上げるとともに、供給源の多角化により、石油・天然ガスの安定的かつ低廉な供給を確保するため、石油・天然ガスの自主開発比率を令和12年（2030年）に50%以上、令和22年（2040年）には60%以上を目指します。

カーボンニュートラルの達成に不可欠な脱炭素燃料の社会実装を進めるため、水素については令和12年（2030年）に最大で年産300万トン、令和32年（2050年）に年産2,000万トン程度、燃料アンモニアについては令和12年（2030年）に年産300万トン、令和32年（2050年）に年産3,000万トンの供給を目指します。